

様式第5号(第6条関係)

令和8年4月1日

(宛先) 湖西市議会議長

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄

(署名又は記名押印)

### 政務活動費収支報告書

湖西市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、令和5年  
年度政務活動費について次のとおり報告します。

1 収入 政務活動費 120,000円

2 支出 (単位:円)

項目	支出額	主たる支出の内容
調査研究費		
広報・広聴費		
要請・陳情活動費	16,480	交通費 他
研修費	76,940	交通費、参加費、宿泊費 他
資料作成費		
資料購入費	42,320	新聞購読
合計	135,740	

3 残額 0円





支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄

会計年度	令和7年度		支出番号	1	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額		60,130 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
1	令和7年 4月23日	参加 負担金	地方議員研究会	30,550円	●参加負担金 30,000円 ●振込手数料 550円
2	令和7年 5月11日	交通費	東海旅客鉄道 株式会社	16,480円	別紙「旅費内訳書」のと おり」
3	令和7年 5月13日	宿泊費	アパホテル 株式会社	13,100円	●宿泊費 13,100円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
支出目的		地方議員研究会「公共施設の論点整理と質問事例」 「インフラの論点整理と質問事例」セミナー参加のため。			
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との  
関連性を記入。

旅費内訳書

出張先： リファレンス西新宿  
大京ビル

出張日： 令和7年5月13日～14日

出張者： 柴田 一雄

区分		行程(路線名・駅名等)			キロ数	金額	備考	
鉄道賃	JR線	普通	鷺津	⇨	新宿	286.9	4,840	
			新宿	⇨	鷺津	286.9	4,840	
				⇨				
	新幹線 特急等	浜松	⇨	東京	257.1	3,400	自由席	
		東京	⇨	浜松	257.1	3,400	自由席	
				⇨				
線	普通		⇨					
小計						16,480		
代			⇨					
代			⇨					
小計						16,480 円		
日当		<del>日</del>	<del>日</del>	<del>円</del>	<del>円</del>	<del>円</del>		
宿泊料		1	泊	13,100	円	13,100		
			泊		円			
合計						29,580 円		
行程略図								
5月13日				5月14日 <研究大会参加>				
鷺津 ⇨ 東海道本線 浜松 ⇨ 東海道新幹線 東京 ⇨ 中央線 新宿				新宿 ⇨ 中央線 東京 ⇨ 東海道新幹線 浜松 ⇨ 東海道本線 鷺津				
<研究大会参加>、宿泊								

供	議長	副議長	局長	次長	係長	係
覧						

様式第9号（第7条関係）

令和7年5月22日

湖西市議会議員  
氏名 柴田 一雄

### 政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

#### 記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和7年5月13日（火）～ 令和7年5月14日（水）
場所	リファレンス西新宿大京ビル 2階
内容	地方議員研究会セミナー 「公共施設の論点整理と質問事例」 「インフラの論点整理と質問事例」
目的 (市政との関連性)	老朽化が進む公共施設とインフラ設備について論点を確認し、当市における課題、的確な質問の抽出、組み立てを学ぶため。
成果	公共施設とインフラ設備について老朽化の物理的なメカニズムから自治体の財政負担、地方公会計の財務書類の見方、これからの人口減少社会における統廃合や縮小について学び、当市における公共施設とインフラ設備の老朽化率から、課題抽出のタイミングや適切な質問内容などを確認することができました。 今後の活動に生かしてまいります。



## 報告詳細

### ◎ 1 日目

#### 「公共施設の論点整理と質問事例」

- ・自治体にある公共施設の最大シェアは学校施設  
庁舎は重要ではない。市民のライフサイクルに関わる施設が重要  
※有形固定資産は地方公会計の財務書類の附属明細書で確認することができる

- ・公共施設は賢く減らそう  
人口が急減する時代に昭和の時代に作った老朽化した施設の更新需要が山積  
施設総量（床面積）を減らさない限り、更新費は膨張する

LCC（ライフサイクルコスト）視点で全体最適を図る

$LCC = \text{建設費} + \text{更新費} + \text{維持管理費} + \text{解体費}$

※議会は「施設別LCC計算の有無」を質すことが必要

- ・減らすプロセス

- ①現状把握
- ②再配置方針
- ③優先順位
- ④実行計画
- ⑤検証

→既存施設を縮減しても、機能は維持、拡散する

例: サテライト窓口、移動図書館、モバイル行政サービス

- ・施設の統廃合の判断の基盤は「施設評価シート」で可視化する

→市はどう考えるのか？

→作っていくことよりも無くしていくことの議会判断の重要性

※利用者にアンケートを取るのではなく、市民全体から無作為抽出を行う

→客観指標が重要、市民のどれだけの割合の人が必要と感じているか？

- ・各公共施設の役割を再考するチャンスである

例: 図書館→本を貸し出す場所ではなく市民の知の拠点

・学校の統廃合は議会が判断

→ 学校は地域のアイデンティティの核 → 単なる施設削減では済まない

→ 小中学校統廃合の「定数指標」を可視化し「公開」「重み付け」

「ランキング表化」をセットで行い、透明性と再現性を確保

・議会が早い段階で論点（規模基準、通学条件、跡地利用）を整理することで  
住民対立を最小化できる

合意形成は4段階

①学校統合を選択した理由

②統合により生じる課題への対応

③統合したことによる成果

④跡地の利用

→スクラップアンドビルドではなく、ビルドアンドスクラップで進める

（将来像を先に示すことが必要 → 廃校は地域の資源に変えられる）

課題：地域コミュニティなのか、校区コミュニティなのか？

地域との関係希薄化を防ぐ工夫

※住民の納得なくして統廃合は成立しない

・子どもが増えている状況で、学校を増やすのが大人の役割である

一方で子どもが減少する状況では学校を減らすことが大人の役割である

○理屈が通った質問の黄金フレームワーク

「あるべき像」「現状」を答えさせ、行政自身の言葉で行政を動かすよう質問を  
設計する。

◎2日目

「インフラの論点整理と質問事例」

○インフラは公共施設と違い無くせない！インフラと公共施設の違いは・・・

①インフラはネットワーク構造で連続性が重要

②廃止が困難で継続的な維持管理が必要

③技術系土木職が常駐で内部での継続的なノウハウの蓄積が求められる

※橋梁は2033年までに4割が50年超えに

- ・上水道、下水道は人口減少と節水化に加えて財政難  
(下水道の改修は、1kmあたり1億円が目安)

○全国で頻繁する道路陥没

- ・下水道老朽化が道路陥没を引き起こす (都市部ほど割合が高くなる)
- ・上水道管の破断がガス管を破断させる事例がある  
→水道局へ補償が請求される

○下水管の老朽化は人の死に直結する

- ・破損に気づきにくい (上水道は水が噴き出るが、下水道は察知しにくい)
- ・配管が深く太い
- ・硫化水素ガス (陥没穴に転落した場合、酸欠+硫化水素で自力脱出が困難)

課題：土木職の公務員は減少の一途

○水道施設の老朽化 (法定耐用年数40年超え)

→ 10年後、約41% → 20年後、約66%

○水道管の漏水はありふれている

→ 年間、全国で2万件、東京だけでも年間8,000件  
毎日300件程度は漏水が起きている

○浄水場・排水池の固定費が財政を圧迫

→本当に必要な溜池なのか? → 溜池の廃止 → 埋めて土地を活用  
例：常時運搬送水、簡易タンク → 財政的に合理的

○インフラ老朽化対策の質問事例

→インフラ老朽化対策の基本パターン

- ①実態把握+計画策定要求
- ②更新速度・財源の具体化要求
- ③事故・災害を起点に緊急対策要求

※上水道、有収率は? どれだけ漏水しているか? 管渠の老朽化率は?

◎まとめ

2日間の研修を通して公共施設とインフラ設備について老朽化の物理的なメカニズムから自治体の財政負担、地方公会計の財務書類の見方、これからの人口減少社会における統廃合や縮小について学び、当市における公共施設とインフラ設備の老朽化率から、課題抽出のタイミングや適切な質問内容などを確認することができました。今後の活動に活かしてまいります。

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

領収証

2025 年 5 月 13 日

柴田一雄 様

★ ￥30,000

但 5/13 公共施設の論点整理と質問事例  
5/14 インフラの論点整理と質問事例

研究会受講代として  
上記正に領収いたしました

地方議員研究会  
〒530-0001  
大阪府大阪市北  
大阪駅前第2ビル  
TEL 050-6

キャッシュサービス ご利用控

毎度ご利用いただきありがとうございます

浜松いわた信用金庫

お取扱日		取扱金庫・店番		機番	取扱通番
07-04-23		[REDACTED]			
カード発行金融機関		店番		口座番号	
[REDACTED]		[REDACTED]		[REDACTED]	
万円券(枚)	五千円券(枚)	二千円券(枚)	千円券(枚)	お取引金額	
				¥30,000*	
お取引内容			お取引後残高		
お引出			[REDACTED]		
手数料	¥550	ページ	硬貨		
時刻	12:44		おつり		

シヤ)シーケーセミナー様  
シハ)タカス"オ様

印紙税申告納  
付につき浜松西  
税務署承認済

COPY

1-2

1-3

領収書 兼 利用明細書

柴田一雄 様

領収金額		¥15,300
宿泊代		¥15,200
**宿泊税		¥100
小計		¥15,300
10%対象	¥15,200	内消費税 ¥1,381
宿泊税	¥100	
合計		¥15,300
現金		¥15,300

部屋番号 : 1008  
宿泊期間 : 2025/05/13 - 2025/05/14

アパホテル <東新宿駅前>  
TEL 03-5287-4111

アパホテル株式会社

登録番号:T4010401043403  
取引番号:016002P051312447 2025/05/13 16:42  
\*本領収書は再発行できません。

領収書 No 9  
窓口 No 102  
駅 No 1244

領 収 書  
柴田一雄 様

金額 ¥16,480円  
[消費税等込み・10%]

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2025年 5月11日  
東海旅客鉄道株式会社  
登録番号: T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員

印

領収証

2025 年 5 月 13 日

柴田一雄 様

★ ￥30,000

但 5/13 公共施設の論点整理と質問事例  
5/14 インフラの論点整理と質問事例

研修会受講代として  
上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001  
大阪府大阪市北  
大阪駅前第2ビル  
TEL 050-68

写

1-1

1-2

1-3

キャッシュサービスご利用控

毎度ご利用いただきありがとうございます

浜松いわた信用金庫

お取引日	07-04-23	取扱金庫・店番	機番	取扱通番
カード発行金融機関	店番	口座番号		
万円券(枚)	五千円券(枚)	二千円券(枚)	千円券(枚)	お取引金額
				￥30,000*
お取引内容		お取引後残高		
お引出				
手数料	￥550	ページ	硬貨	
時刻	12:44		おつり	

ご案内の領収書先明細書

シヤ)シーケーセミナー様  
シハ)タカスオ様

印紙税申告納  
付につき浜松西  
税務署承認済

写

領収書  
柴田一雄 様

金額 ￥16,480円  
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2025年5月11日  
東海旅客鉄道株式会社  
登録番号：T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

驚津駅

現金出納社員

印

写

領収書 兼 利用明細書

柴田一雄 様

領収金額 ￥15,300

宿泊代 ￥15,200  
\*\*宿泊税 ￥100

小計 ￥15,300  
10%対象 内消費税 ￥1,381  
宿泊税 ￥100

合計 ￥15,300  
\*\*課税対象外

現金 ￥15,300

部屋番号 : 1008  
宿泊期間 : 2025/05/13 - 2025/05/14

アパホテル <東新宿駅前>  
TEL 03-5287-4111

アパホテル株式会社

登録番号:T4010401043403  
取引番号:016002P051312447 2025/05/13 16:42  
\*本領収書は再発行できません。

写

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄

会計年度	令和 7 年度		支出番号	2	
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額			16,810円		
枝番	支出年月 日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和7年 6月3日	交通費	東海旅客鉄道 株式会社	16,810円	●旅費内訳書との差額 (            円)
				円	
				円	
				円	
				円	
支 出 目 的	東京都千代田区永田町 「地方創生2.0」 「AI」を活用した行政運営について研修参加のため。				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

旅費内訳書

出張先： 衆議院第二議員会館会議室・中央合同庁舎8号館 出張日： 令和7年6月10日

出張者： 柴田一雄

区分		行程(路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考	
鉄道賃	JR線	普通	鷺津 ⇨ 東京	276.6	4,840		
			東京 ⇨ 鷺津	276.6	4,840		
		新幹線 特急等	浜松 ⇨ 東京	257.1	3,730	指定席	
			東京 ⇨ 浜松	257.1	3,400	自由席	
	東京メトロ丸ノ内線	普通					
	小計					16,810	
	代						
代							
小計					16,810 円		
日当	/						
宿泊料		泊		円			
		泊		円			
合計					16,810 円		

行程略図

【往路】

鷺津  
⇨ 東海道本線  
浜松  
⇨ 東海道新幹線  
東京  
⇨ 東京メトロ丸ノ内線  
国会議事堂前  
⇨ 徒歩  
衆議院第二議員会館会議室

【復路】

中央合同庁舎8号館  
⇨ 徒歩  
国会議事堂前  
⇨ 東京メトロ丸ノ内線  
東京  
⇨ 東海道新幹線  
浜松  
⇨ 東海道本線  
鷺津

令和7年6月16日

湖西市議会議員  
氏名 柴田 一雄

### 政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。



記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和7年6月10日（火）
場所	東京都千代田区永田町
内容	1. 「地方創生2.0」について（総務省）の研修 2. 「AI」を活用した行政運営について（内閣府）の研修 3. 城内実経済安全保障大臣、内閣府特命担当大臣訪問
目的 (市政との関連性)	「地方創生2.0」を行政運営及び総合計画に反映するため
成果	これまでの地方創生の流れと「地方創生2.0」としての新しい取組について国の支援体制や先進事例について学ぶことができた。 「AI」分野における国の開発状況、支援体制、そして先進物である海外製品の醸成と「AI」新法によるこれからの取組について理解することができた。

## 報告詳細

### ◎「地方創生2.0」について

講師 内閣府 地方創生推進事務局

九島 勇一 参事官補佐

内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局

加藤 卓 参事官補佐

### I これまでの地方創生の取組とその成果

「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及びまち・ひと・しごと創生総合戦略

#### 基本目標

- ①地方における安定した雇用を創出する
- ②地方へ新しい人の流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

地方創生版3本の矢（国が行う地方公共団体に対する多様な支援）

#### ①財政支援の矢（交付金 等）

- ・平成28年度より毎年当初予算1,000億円、プラス補正予算1,000億円。
- ・地方創生推進タイプは、全47都道府県、市区町村では82.6%が活用している。
- ・地方創生拠点整備タイプは、93.6%、市区町村では50.9%が活用している。

#### ②人材支援の矢（人材支援制度 等）

- ・国家公務員、大学研究者、民間企業社員等を副市町村長や幹部職員、アドバイザーとして地方公共団体へ派遣。
- ・派遣前の壮行会、年に数回、報告会・情報交換会を開催し、派遣者間のネットワークを構築。
- ・派遣実績は、平成27年から令和7年3月まで合計792人

#### ③情報支援の矢（地域経済分析システム（RESAS））

- ・ビッグデータを見える化したRESASを提供し、デジタル実装を支援するためのプラットフォームとしてRAIDAを構築。

○人口に係る一定の成果

○デジタル実装に取り組む地方公共団体の増加

## II 地方創生の課題

- ・東京圏への転入超過

## III 地方創生2.0について

- ・新しい地方経済・生活環境創生本部（新地方創生本部）を閣僚会議とし、有識者会議、関係省庁会議と繋げ、全世代型社会保障構築本部とデジタル行財政改革会議と連携しながら議論を進める。

## IV 地方創生2.0に向けた施策

- ・令和7年度より当初予算を2,000億円、令和6年度補正予算は1,000億円
- ・新しい地方経済、生活環境創生交付金
- ・国の職員による自治体伴走支援

### ◎「AI」を活用した行政運営について

講師 総務省 行政管理局調査法制課

亀井 龍 総括係長

#### ○AIとは何か

- ・「機械学習」の実用化や学習したデータにどのような特徴があるかを示す特徴点をAIが自ら習得する「ディープラーニング（深層学習）」の登場により、幅広い活用シーンにおいて実装を耐えうる性能を持つこととなり、「第3次AIブーム」として脚光を浴びている。

#### ○自治体のAI導入

- ・社会変化の中でも、住民が健康で文化的な生活を送るために自治体は安定して持続可能な形で住民サービスを提供することが求められ、業務の効率化や職員の単純作業からの解放による人間でなければ遂行できない業務に集中できる環境を整えることが必要。

#### →人口減少による自治体の課題

- ・行政職員の減少
- ・税収減少
- ・社会保障費の増加
- ・都市のスポンジ化

○AI導入のメリット

- ・ 職員の業務の効率化や、住民サービスの向上（自動化・高度化）  
（令和5年度・自治体の30%が導入、20%が導入予定）

○導入に向けた課題解決

- ・ 人材不足 → デジ庁による職員の教育支援
- ・ コスト、海外製品の先進 → 国が作ったアプリケーションの推進と開発  
（民間企業に予算をつけた開発）

◎城内実経済安全保障大臣、内閣府特命担当大臣訪問

- ・ 経済安全保障分野における国の取組や湖西市における重要課題、地域課題について意見交換。

◎まとめ

研修を通して国が進める地方創生、AI分野における進捗状況を学ぶ事ができた。同時に湖西市においてどのように活用できるのか、体制が整っているのかという課題も感じた。更に知識を深め、今後の活動に活かしていきたい。

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

②

駅-No 1244 領収書-No 9  
窓口-No 102

領 収 書

柴田一雄 様

金額 ￥16,810円  
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2025年6月3日  
東海旅客鉄道株式会社  
登録番号：T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



② コピー

駅-No 1244 領収書-No 9  
窓口-No 102

領 収 書

柴田一雄 様

金額 ￥16,810円  
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2025年6月3日  
東海旅客鉄道株式会社  
登録番号：T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員

写

## 支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄

会 計 年 度	令和7年度	支 出 番 号	3		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額		19,800円			
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (                      円)
		宿泊費		円	●宿泊費                      円 ●夕食加算                      円 ●朝食加算                      円
		参加 負担金		円	●参加負担金                      円 ●振込手数料                      円
	令和7年 9月28日	資料 購入費	湖西新聞販売 センター	19,800円	●資料名 静岡新聞 (4月から9月分)
		その他 (                      )		円	
支 出 目 的		より多くの地域の情報収集と社会情勢における多方面からの調査研究に活かす為。			
備 考		本資料は中日新聞に次ぐ2紙目の購入である。			

※ 領収書は別紙に添付。                      ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

③

領 収 証

柴田 一雄

様 No. 660

★ ¥19,800-

但 静岡新聞 25年4月~9月 購読料

登録番号 T8810076852068

2025年 9月28日 上記正に領収いたしました 登録番号

内訳	税率	金額(税抜税込)	¥18,336-
	8%	消費税額等	¥1,464-
	税率	金額(税抜税込)	
	%	消費税額等	

〒431-0431 静岡県湖西市鷺津2489-1

湖西新聞販売センター

代表 白石 康博

TEL053-576-0351 FAX053-576-4746

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

## 支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄

会 計 年 度	令和 7 年度	支 出 番 号	4		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額		16,480円			
枝番	支出年月 日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和7年 11月19日	交通費	東海旅客鉄道 株式会社	16,480円	●旅費内訳書との差額 (                      円)
				円	
				円	
				円	
				円	
支 出 目 的	東京都千代田区永田町 国に対する要望活動 (環境省、財務省、国土交通省)				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。                      ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

旅費内訳書

出張先： 東京都千代田区永田町

出張日： 令和7年11月20日

出張者： 柴田一雄

区分		行程(路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考		
鉄道賃	JR線	普通	鷺津	⇨	東京	276.6	4,840	
			東京	⇨	鷺津	276.6	4,840	
				⇨				
		新幹線 急等	浜松	⇨	東京	257.1	3,400	指定席
			東京	⇨	浜松	257.1	3,400	自由席
				⇨				
	東京メ トロ丸 ノ内線	普通		⇨				
				⇨				
	小計					16,480		
	代			⇨				
代			⇨					
小計					16,480 円			
日当		/						
宿泊料			泊		円			
			泊		円			
合計					16,480 円			
行程略図								
<p>【往路】</p> <p>鷺津</p> <p>⇨ 東海道本線</p> <p>浜松</p> <p>⇨ 東海道新幹線</p> <p>東京</p> <p>⇨ 東京メトロ丸ノ内線</p> <p>霞ヶ関</p> <p>⇨ 徒歩</p> <p>中央合同庁舎5号館</p> <p>⇨ 徒歩</p> <p>中央合同庁舎3号館</p> <p>⇨ 徒歩</p> <p>参議委員議員会館</p>				<p>【復路】</p> <p>中央合同庁舎3号館</p> <p>⇨ 徒歩</p> <p>霞ヶ関</p> <p>⇨ 東京メトロ丸ノ内線</p> <p>東京</p> <p>⇨ 東海道新幹線</p> <p>浜松</p> <p>⇨ 東海道本線</p> <p>鷺津</p>				

供	議長	副議長	局長	次長	係長	係
覧	[Redacted]					

様式第9号 (第7条関係)

令和7年11月27日

湖西市議会議員  
氏名 柴田 一雄

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。



記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和7年11月20日(木)		
場所	環境省、財務省、国土交通省		
内容	国に対する要望事項 1. 「浜松湖西豊橋道路」の早期実現に向けて 2. 物流機能の向上を図る幹線道路の整備への支援について 3. 水道スマートメーターの市内全域地域設置に係る財政支援について 4. 湖西市新最終処分場(仮称)の整備に係る財政支援について 5. 湖西市旧焼却場の解体に係る財政支援について		
目的 (市政との関連性)	令和7年度湖西市要望書の説明と陳情		
成果	現在、湖西市が抱えている重点課題の早期実現、早期解決に向けて、「国に対する要望」として先輩議員、同僚議員、総勢7名で環境省、財務省、国土交通省へ要望書を持参し、陳情を行いました。 面談の中から懸案事項についての国の考え方、今後の見通しを聞くことで、知識の拡大にも繋がりました。 今後の議員活動に活かしていきます。		

報告詳細

環境省 辻清人 副大臣 面会

「湖西市新最終処分場（仮称）の整備に係る財政支援について」

「湖西市旧焼却場の解体に係る財政支援について」

・「首都高の老朽化をはじめ、全国的にインフラ設備の更新の時であり、前向きに検討していきたい」と考えを伺う。

財務省 三反園 訓 財務大臣政務官

今回、環境省、国土交通省への要望、5項目について説明。

・「特に道路整備は減災、防災、国土強靱化、観光においても経済効果は高く、高市総理大臣の重点施策でもあり、今後、補正予算も含めて進めていきたい」との考えを伺う。

国土交通省 永井 学 副大臣

若林洋平 参議院議員 同行

「浜松湖西豊橋道路の早期実現に向けて」

「物流機能の向上を図る幹線道路の整備への支援について」

「水道スマートメーターの市内全域設置に係る財政支援について」

・「浜松湖西豊橋道路」については、三河港と東名高速道路、三遠南信道路が繋がる意義は大きい。国としても支援をしていきたい」との考え。

・バッテリーロードについては「しっかりと繋がってこそ、意味のある道路であり、支援をしていきたい」とのコメントをいただく。

・水道スマートメーターについては「全世帯への普及は全国でもはじめての取り組みであり、国としても注目の事業であり、引き続き支援していきたい」との考え。

参議院議員会館

片山さつき 財務大臣 事務所へ挨拶

牧野たかお 復興担当大臣 事務所へ挨拶（留守）

国土交通省

金子 恭之 国土交通大臣 面会

城内 実 日本成長戦略担当大臣 同行

まとめ

要望書を手渡し、説明することで、前向きな返答もいただき、一定の成果が得られたのではないかと思います。

面談の中から懸案事項に関しての解決策、今後の見通しを聞くことで、知識の拡大にも繋がりました。今後の議員活動に活かしていきます。

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

# 国 に 対 す る 要 望 書



▲豊田佐吉翁

▲KOSAI Battery Park



浜名湖の西岸  
静岡県西端のまち



自由民主党静岡県連  
湖西・新居支部湖西市議団

令和7年11月20日

用 務： 自民 湖西市議団 国整要望活動

日 時： 令和7年11月20日(水) 09:00～

参加者： 神谷、竹内、馬場、菅沼、滝本、柴田、山口

服装他： ネクタイ・ジャケット着用

移 動： 公共交通機関

【往路】 JR+地下鉄 (切符は各自対応)

09:22 新所原駅発

09:27 鷺津駅発

09:48 浜松駅着 ※昼食を購入

10:17 浜松駅発 (ひかり500号) ※新幹線内で昼食

11:42 東京駅着

12:12 東京駅発 (丸の内線)

12:16 霞が関駅着 (B3b出口) ~徒歩で「中央合同庁舎5号館」へ

13:30 環境省1Fロビー (小嶋さんと合流)

13:45 環境省 辻副大臣 (24F 副大臣室)

14:00 移動~ 財務省へ (小嶋さんの案内)

14:20 財務省 三反園政務官 (2F 政務官室)

14:35 移動~ 総務省へ (小嶋さんの案内)

15:45 国交省 永井政務官

16:00 移動~ 議員会館への挨拶回り

城内実 衆議院第二議員会館 623号室

片山さつき 参議院議員会館 420号室

牧野京夫 参議院議員会館 812号室

若林洋平 参議院議員会館 715号室

16:45 移動~ 国交省へ

17:30 国交省 金子大臣

【復路】(目安)

東京駅発

浜松駅

新居町着

鷺津着

新所原着

19:03

~

20:27

2043

~

21:00

21:04

21:08

4

駅-No 1244 領収書-No 7  
窓口-No 102

領 収 書

柴田一雄 様

金額 ￥16,480円  
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2025年11月19日  
東海旅客鉄道株式会社  
登録番号：T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



コピー

④

駅-No 1244 領収書-No 7  
窓口-No 102

領 収 書

柴田一雄 様

金額 ￥16,480円  
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2025年11月19日  
東海旅客鉄道株式会社  
登録番号：T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

驚津駅

現金出納社員



写

## 支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄

会 計 年 度	令和7年度	支 出 番 号	5		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額                      22,520円					
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (                      円)
		宿泊費		円	●宿泊費                      円 ●夕食加算                      円 ●朝食加算                      円
		参加 負担金		円	●参加負担金                      円 ●振込手数料                      円
	令和8年 3月25日	資料 購入費	湖西新聞販売 センター	22,520円	●資料名 静岡新聞 (10月から3月分)
		その他 (                      )		円	
支 出 目 的	より多くの地域の情報収集と社会情勢における多方面からの調査研究に活かす為。				
備 考	本資料は中日新聞に次ぐ2紙目の購入である。				

※ 領収書は別紙に添付。                      ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

⑤

領 収 証

柴田 一雄 様 No. 732

★ ¥ 22,520-

但 R7年10月~R8年3月 静岡新聞購読料

2026 年 3 月 25 日 上記正に領収いたしました 登録番号 T8810076852068

内訳

税率	金額(税抜税込)	¥22,520-
8%	消費税額等	¥1,664-
税率	金額(税抜税込)	
%	消費税額等	

〒431-0431 静岡県湖西市鷺津2489-1

湖西新聞販売センター

代表 白石 康 博

TEL053-576-0351 FAX053-576-4746

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097